

【主な歳入】

市民税 個人 38 億 300 万円 法人 14 億 250 万円
固定資産税 67 億 700 万円
都市計画税 6 億 9400 万円
ふるさと寄付金 5 億 2000 万円

【主な歳出】

（総務費）
ふるさと応援寄附金事業 2 億 7556 万円
麓まちづくり推進センター改修 1 億 2721 万円
新庁舎整備事業 6 億 3643 万円
おくやみハンドブック【新規】 70 万円
（民生費）
生活保護費 8 億 2000 万円
保育士宿舍借り上げ支援事業 675 万円
保育補助者雇上強化事業 2500 万円
産後ケア事業 361 万円
救急医療対策費 5217 万円
（衛生費）
鳥栖三養基西部環境施設組合負担金 74818 万円
佐賀県東部環境施設組合負担金 85093 万円
（農林水産業費）
防災重点ため池整備事業 2100 万円
（商工費）
企業立地等奨励金 1 億 5797 万円
四阿屋周辺整備事業 3639 万円

令和5年3月定例会

令和5年度予算 290億4932万円

(土木費)

田代大官町・萱方線等道路事業 1 億 5270 万円
轟木・衛生処理場線道路事業 7000 万円
飯田・酒井東線等道路事業 1 億 8663 万円
飯田・水屋線等道路事業 9800 万円
道路維持・舗装費 2 億 3316 万円
市民公園整備事業 2 億 3174 万円
地域公共交通確保維持改善事業 820 万円
地方バス路線維持費補助金 5824 万円
(消防費)
消防事務組合負担金 6 億 9645 万円
(教育費)
旭小学校大規模改造事業 2 億 1826 万円
田代小学校大規模改造事業 3 億 9000 万円
別室における学校生活支援事業 813 万円
学校給食費公会計化事業 3 億 9284 万円
放課後児童クラブ整備事業 9840 万円
放課後児童健全育成事業 1 億 6014 万円
地域交流推進事業【拡充】 1579 万円
プロ練習拠点開放奨励金【新規】 3000 万円

より良い鳥栖に
わくわく宣言

発行者：
西依義規
〒841-0005
鳥栖市弥生が丘
2-110-1
TEL090-1874-2107
e-mail:
waku2sg@gmail.com

志とは、一本筋の通ったもので、なかなか変わらないものだと思うが、その時々判断をされてきた新市長のスタンスとは合致しないのではないかと。

【市長（答弁）】
■16年前、市長選の折、現職の牟田市長を応援されましたが、突然、橋本市長候補の応援に転じられました。また近年は、橋本市長候補ではない候補を応援されており、今回はご自身で、市長に立候補されました。目指すべき方向性とは、そこまですべて変わるものなのか。

【市長（答弁）】
■施政方針の冒頭で申し上げました「志」でございますが、この言葉には、目指すべき方向性や、将来的なビジョンという想いを込めたものでございます。このことは、政治に携わる者が持つべき覚悟と表裏一体をなすものでもございまして、ことから、片時も忘れることなく、常に私なりの「志」をもって歩み続けたいと思っております。

【西依（質問）】
■新市長の志とは何か。

新市長の志とは？ 近未来鳥栖とは？
10万都市を目指した先にあるのかの？



【市長（答弁）】
■私が政治を志し、今日に至るまでの間、一貫して思い続けていることは、信を得るということです。これまで、市議、県議として鳥栖市勢発展に努めてまいりました。その間、市勢発展に繋がると信じる施策について、微力ながら取り組み続けるとともに、その時々状況や踏まえ、守るべきは守り、しかしながら変革を恐れることなく前進することを信条としてまいりました。

鳥栖駅周辺整備

4年間止まったままなのか。

鉄道高架化（連続立体交差）や東口設置を公約に当選した向門氏ではあるが、今回の一般質問では実現への具体的な方策を聞くことはできなかった。

鳥栖駅周辺整備については、市街地の東西連携のあり方や駅舎、駅前広場をはじめとする周辺整備等を重要政策としたが、鉄道高架化の可能性については、もう一度精査したいと述べ、橋上駅には触れなかった。

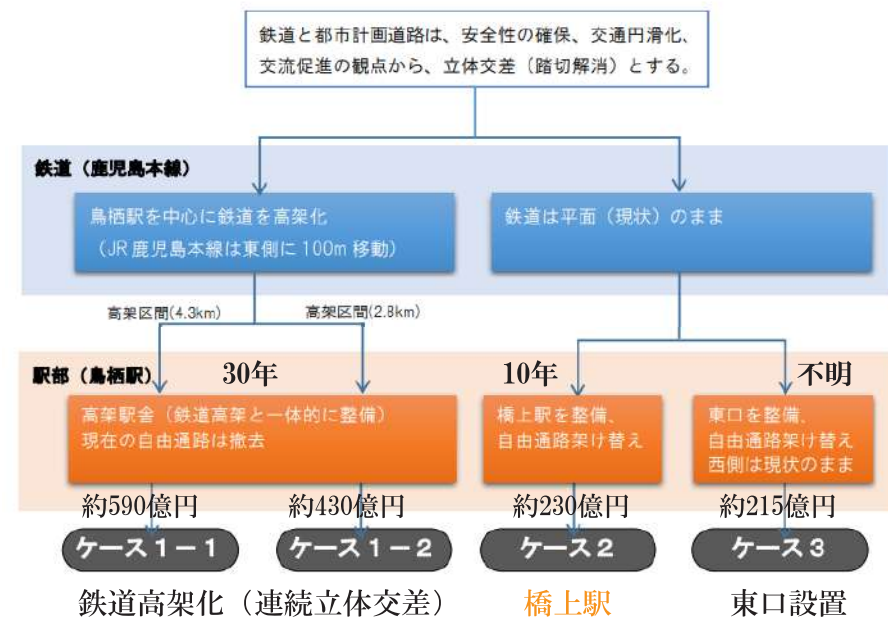
東口設置についても、利便性向上、駅西側の混雑解消にもつながるが、実現可能性については精査が必要とし、方策は示さなかった。

鉄道高架も東口も、JR九州との対話を重視すると述べたため、見方を変えれば、JR九州との対話を重視した結果、橋上駅にするという結果が待っているとも言える。

東口設置の可能性を追い求めるのはいいし、関係者との協議や駅周辺について改めて総括するのはいいが、鉄道高架化を一刻も早くテーブルから降ろさなければ鳥栖市のまちづくりは一步も進まない。

鉄道と道路の立体交差の考え方
(H28.鳥栖駅周辺まちづくり基本構想より)

■ケース設定フロー



※鉄道高架化と橋上駅を選択した場合の違い
・鳥栖駅舎の新設…鉄道高架30年後：橋上駅10年後
・高橋の渋滞解消…鉄道高架30年後：橋上駅すぐに検討
・駅前広場整備…鉄道高架30年後：橋上駅すぐに検討
・駅東側開発…鉄道高架30年後：橋上駅すぐに検討

的な効果発現に30年程度要すると考えられるが、駅部に限れば事業期間は約10年であり、市民・駅利用者の利便性向上に即効性が期待できる。また、上位計画との整合性、まちづくりへの効果も比較的高い。

ケース3の東口設置及び道路単独立体交差は、事業費が最も低いですが、駅西側の駅前広場は既存のまま変わらないため、上位計画との整合性が弱く、まちづくりへの効果も限定的である。

早期の効果発現が期待できるとともに、上位計画との整合性、まちづくりへの効果も高い。ケース2（橋上駅、道路単独立体交差）が最も鳥栖駅周辺地区にふさわしい。

※令和5年6月定例会は、6月5日に開会予定で、一般質問は6月12日から開催されます。ぜひ議会傍聴またはインターネット中継をご視聴ください。
公式HPには、過去の一般質問や重点政策などを載せています。



3月議会一般質問

市長施政方針について



10万都市をなせ目指すのか

【西依（質問）】
「10万都市を目指すほど」とは、鳥栖市の人口目標を10万人に設定するという意味か。

その場合、鳥栖市の将来目標人口は7万5千人～7万7千人となっているが、それも変えるということでしょうか。

また人口ビジョンを変えると、各種政策に影響すると思うが、どのように整合を図るつもりですか。

【市長（答弁）】

■昨今、事業用地、住宅用地が枯渇しつつある状況を迎え、本市に土地を求める方のニーズに対応できていない点について、先の選挙

地域における協働のあるべき姿が描けていない

【西依（質問）】
■地域における協働のあるべき姿とは。

【市長（答弁）】
■子供から高齢者まで、すべての人々の生活の根底にある、地域における支え合いの気持ちを重視したものでございます。

■隣近所のお付き合いはもとより、地域を支えるまちづくり推進センターやまちづくり協議会の取組、また、それぞれの町区に対する支援など、地域活動を強化していくことを念頭に申し上げました。

【西依】

■地域における「協働」とは、これまで行政が行ってきた住民サービスをこれからは自治会や、まち協でも担っていつてもらえませんか。

住民が行政だけに頼らず、時には自分たちの地域のことは自分たちの手でやってみる。そうした地域自治の在り方を意味するものではないでしょうか。

今後も嘱託員制度を続けるのか、まちづくり推進センターの役割は

で訴えてまいったところでもございます。
本市のさらなる成長にとって、何が足かせとなるのか、土地利用の在り方のどこに課題があるのかにつきましては、今後、詳細に分析し、検討を深めてまいりたいと考えておりますが、これからの時代に則した土地 利用の在り方を実現することによって、さらなる成長に繋げていく余地が十分にあるものと考えた結果として、「10万都市を目指すほどの成長の余地がある」と表現したところでございます。

なお、本市の将来人口の目標値につきましては、社会的、自然的要因による増減と、転入元、転出率の推移など、様々な要因を複合的に勘案したうえで設定していくべきものでありますことから、今後検討を深めてまいりたいと考えております。

人口が10万人になった
その先に何があるのか

【西依】

■近隣の10万人規模の都市と鳥栖市の決算資料を比較しても、自主財源（地方税）は、あまり変わりません。

人口が10万人に増えたからと言って、財源がそれほど豊かになるわけでもないし、市民生活がそんなに良くなると思えない。

鳥栖市の目指す方向性として、人口拡大路線でいくのならば、なんとなくではなく、どれぐらいの期間で、どれぐらいの人口を拡大するのか、目標を数値で示すべきではないでしょうか。

ただ、私は、事業用地、住宅用途の開発で人口10万人を目指す方向性には疑問があります。

人口が増えれば、保育園の入所待ち児童、放課後児童クラブの待機児童は更に増加しますし、教育施設も不足しますので、そうした課題も解決する必要があります。

呼び込む政策も大事だとは思いますが、鳥栖市に今お住まいの7万5千人の皆さんの暮らしがもっと豊かになるような政策を最優先に行っていたきたい。

鳥栖市地域との協働による安全安心の道づくり事業見直し案

要件	現行	委員会提案	備考
対象路線	区長からの要望	通学路点検や各町区からの要望等を踏まえて、小学校区毎に対象箇所を選定する	小学校区毎に「整備計画」を作成する
拡幅前の員幅	里道 4 m以下の市道	現況に照らして安全上問題が認められる場合には、4 m以上の道路についても対象とする	
拡幅後の員幅	概ね6 m以上	可能な限り6 m以上が望ましいが、周辺の状況や土地所有者等との調整を踏まえて柔軟に判断する	
用地	寄付	買収や奨励金により用地を確保する	
工事	工作物等がないこと	工作物等の補償や奨励金にて対応する	
地元調整	地域	地域と市が協力して地元調整を行う	町区や関係機関等と調整の上、「整備計画」を作成する

【市長（答弁）】

■通過交通による交通渋滞の問題など、交通の要衝としての責務を負う、本市の道路行政等に関し、スピード感をもって取組を進めていく覚悟を述べたものでございますことから、幹線道路をはじめ、通学路や生活道路等における安全確保に関しまして、取組を進めてまいりたいと考えております。

情報公開の徹底？
予算編成過程の公表を

【西依（質問）】

■情報公開の徹底とは。

【市長（答弁）】

■「情報公開の徹底」につきましては、私が鳥栖市政の舵取りを担うにあたりまして、市民の皆様、議会の皆様への丁寧な説明を心がけるとともに、開かれた市政としていくことをお約束したものでございます。

そのためにはまず、私自身が胸襟を開き、職員との対話を重視してまいりたいと考えております。

また、市民の皆様をはじめ、鳥栖市に関係するすべての皆様に対しましても、オープンな議論をお約束いたします。

【西依】

■一般的にいう情報公開とはそういうことではないのでは。
ある自治体では、市民の方への説明責任を果たすとともに、財政運営の透明性を確保し、信頼を向上させるために、当初予算のスケジュールや部局別予算要求方針、査定状況など予算編成過程を公表している。ぜひ検討してみてください。